

## 令和3年度第1回広報・広聴委員会 会議報告

日 時 令和3年5月28日（金）14：00～16：00  
場 所 オンライン開催  
出席者 今部委員長、宇野、鎌田、久保庭、坂口、富田、  
藤吉、吉原、関根、内藤（事務局）

### ○開会あいさつ（今部委員長）

### ○自己紹介

### ○委員会関係規程について

- ・会則における委員会設置の根拠、委員会運営要領について確認した。
- ・互選により藤吉委員を副委員長（編集長）に選出した。

### ○協議

#### （1）会報第110号の編集

- ・12頁で構成する。
- ・第24期会長就任あいさつ、第1回役員会レポート、各委員会の事業計画と抱負、総会関連記事のほか、新型コロナウイルス関連の取組みについても速報記事として組み込む。
- ・次のスケジュールで進行する。

構成決定：6月中旬、原稿依頼：6月下旬、原稿締切：8月上旬、  
印刷完了：9月下旬

#### （2）会誌『記録と史料』第32号の編集

- ・特集テーマは2本とし、特集①として「認証アーキビスト制度」（仮）、特集②として「公文書管理法10年」（仮）とする。会誌全体のページ数が大幅増とならないよう留意が必要である。
- ・アーキビストの眼は、認証アーキビスト制度及び公文書管理普及セミナーを取り上げる。
- ・特集、世界の窓およびネットワークの原稿依頼候補者について、役割分担して各委員から打診することとした。
- ・書評と紹介については、第2回委員会で協議する。

#### （3）その他の事業について

- ・全史料協の活動に功績のあった方の「お悔やみ」の取扱いについて、会誌への掲載方法等の検討が必要であることを共有した。

### ○その他

#### （1）次回開催場所および日時

- ・第2回委員会は、8月上旬に開催することとした。日時及び開催方法・場所については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえて後日決定する。

#### （2）その他事務連絡等

- ・特になし。

## ○書面開催分

以下の報告・協議事項については、上記オンライン会議開催に先立ち（令和3年4月30日～5月10日）、書面により開催した。

### （1）報告

#### ア 令和2年度第2回役員会について

- ・令和3年2月に開催された第2回役員会について報告した。

#### イ 令和3年度全史料協の組織体制について

- ・全史料協の役員名簿により第24期の体制について確認した。

### （2）協議

#### ア 令和2年度事業結果報告について

- ・前事務局の広島県文書館から引き継いだ事業結果について報告した。

#### イ 令和2年度決算報告について

- ・前事務局の広島県文書館から引き継いだ決算について報告した。

#### ウ 令和3年度事業計画案について

- ・会報第110号を令和3年9月に、会報第111号と会誌『記録と史料』第32号を令和4年3月に発行する。
- ・各委員会や会員、関連機関等から寄せられた情報を迅速にホームページに掲載する。
- ・刊行物の販売と在庫管理を行うとともに、刊行後1年経過した会誌の記事をJ-STAGEへ掲載する（会誌第31号の記事を令和4年3月に掲載予定）。

#### エ 令和3年度予算案について

- ・令和3年度は事務局の交代が発生しないため、旅費や通信運搬費等の引継ぎ関連予算を減額し、委託業者が変更となる印刷製本費を増額した。

以上